

3. インシデント

インシデントとは、鉄道運転事故が発生する恐れがあると認められる事態をいいます。

インシデントが3件発生しました。それぞれの事態について再発防止対策を徹底することにより事故の防止に努めました。

■主なインシデント事例

- ・発 生 日 時 / 平成21年5月9日 3時6分頃
- ・発 生 場 所 / 山陽本線 門司駅構内
- ・概 況 / 門司駅構内の除草剤散布の保守用車が、作業承認範囲を超えて移動し車両接触限界を侵したため、進来してきた貨物列車が緊急停車した。
- ・再 発 防 止 対 策 / 緊急事故防止会議を開催し、保守用車使用時の運転取扱いについて再教育を実施するとともに、安全パトロールを実施して作業実態のチェック及び指導を行い再発防止に努めました。

5 行政指導等に対する措置

〈平成21年度行政指導等の実績及びその対策〉

平成21年10月31日

九州運輸局鉄道部長から、鉄道事業本部長宛てに「輸送の安全の確保について(警告)」が通知されました。

■通知内容

平成21年10月30日鹿児島本線大牟田駅構内において、分岐器の制限速度を大幅に超えて列車を運転し、その動揺により乗客が負傷する鉄道人身障害事故が発生させたことは、誠に遺憾である。

ついては、背後要因等を含め事故を詳細に調査して原因を究明し、同種事故の再発防止のため、必要な措置を講ずるよう厳重に警告する。

■原因

運転士が、列車の遅れを気にして速度制限を意識せず、分岐制限速度を超過して運転したため。

■緊急対策

- (1)車掌及び運転士関係緊急現場長会議を開催し、事故の重大性を周知するとともに、副本線から列車出発時の取扱い及び前方注視の再教育を実施しました。
- (2)進出制限の大きい箇所(45km/h以下)に対するノッチ制限を各運転職場の運転作業要領に記載し、取扱いの統一を図りました。
- (3)大牟田駅構内及び同種箇所に対して、速度制限標識を設置しました。また、大牟田駅2番線に速度照査付ATSを設置しました。

■恒久対策

- (1)同種箇所について、速度照査付ATSを計画的に整備します。
- (2)新規動力車乗務員養成時のカリキュラムを見直し、安全意識教育の充実を図りました。
- (3)新人運転士フォロー教育を強化します。
- (4)安全創造館を平成23年1月に設立して社員の安全教育に取り入れ、安全意識の高揚を図ります。